

第3回府中市学校教育プラン検討協議会会議録（要旨）

- 1 開催日時 令和7年9月16日（火） 午後6時30分～午後7時10分
- 2 開催場所 府中市役所おもや4階 第1特別会議室
- 3 出席者 10名（50音順、敬称略）

委員 伊 藤 博 康	委員 菊 山 直 幸
委員 高 岡 麻 美	委員 高 汐 康 浩
委員 立 川 未 奈	委員 田 中 洋 一
委員 中 村 優 子	委員 増 渕 達 夫
委員 松 下 雄 太	委員 山 下 隆 久
- 4 欠席者 なし
- 5 出席説明員等

教育部副参事兼指導室長	志 村	安
教育総務課長	松 本	寛
教育総務課長補佐	浅 見 公	博
学校施設整備担当主幹	曾 根 邦	友
新たな学校づくり担当主幹	國 分 大 樹	
学校施設課長補佐	大 南 尚 也	
学務保健課長	須 田 茂 也	
学務保健課長補佐	横 山 聖 子	
給食センター所長	大 木 忠 厚	
教育指導担当主幹	佐 藤	公
教育・就学相談担当主幹	鈴 木 正 憲	
統括指導主事	鈴 木	篤
指導室長補佐	石 渡 通 暁	
教育総務課係長	大 沢 直 樹	
教育総務課主任	徳 永 昭 子	
教育総務課主任	青 木 なつみ	
- 6 傍聴者 1名
- 7 議事日程
 - (1) 確認事項
 - ア 第2回府中市学校教育プラン検討協議会会議録（要旨）について
 - (2) 協議
 - ア 第3次府中市学校教育プランの中間見直しにかかる答申（案）について

■会議録

○会長 ただいまから、第3回府中市学校教育プラン検討協議会を始めます。

まず、事務局から本日の委員の出席状況について報告してください。

○事務局 本日の協議会ですが、委員10名中10名の皆様の出席をいただいておりますので、有効に成立しております。以上でございます。

○会長 本日の会議は有効に成立しているとの報告がありました。

続いて、事務局から本日の傍聴希望の状況を報告してください。

○事務局 本日は、1名の方が傍聴を希望されており、会場の外でお待ちいただいております。

○会長 委員の皆さんにお諮りします。傍聴希望者の入室を許可してよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

(傍聴者入場)

○会長 続きまして、本日の配付資料について、事務局から説明してください。

(事務局から資料の説明)

○会長 それでは、次第の2「確認事項」として、前回の会議録の確認について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局 資料の3-1につきましては、前回の会議録となっております。こちらの内容について、9月22日月曜日までに内容をご確認いただき、修正等がございましたら、事務局にお知らせください。

○会長 よろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○会長 それでは、次第3の「協議」に移ります。資料がたくさんありますが、3-2が、前回の協議会で私たちから出た意見と、それに対する修正内容です。それらを反映したものが、本日の内容、答申案の確認になるということです。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局から資料3-2～3-4に基づき説明)

○会長 ありがとうございました。今日が協議会の最終回ですので、今日の最後には、完成形をお示ししたいと思っております。

資料３－２については、前回の協議会における指摘内容と、それを踏まえてどのように変更したかという対応内容が記載されています。ご自身のご指摘のとおり修正されているかをご確認ください。

それから、資料３－３は、前回の協議会の後に、追加して各委員からご指摘のあったものです。こちら併せて確認していただきたいと思います。

しばらく時間を取りまして、その後、ご意見をいただきたいと思います。

(各委員で資料３－２～３－４の確認)

○会長 それでは、何かご意見などはございますでしょうか。

○委員 前回ご指摘した部分の１か所だと思うのですが、資料３－４の１９ページの上から８行目の「教員の働き方改革」と、同じページの下から２行目の「教職員の働き方改革」について、表現を合わせていただくようにお話ししたかと思しますので、修正をいただければと思います。

○会長 どちらに統一するのがよいのでしょうか。

○委員 「教職員」に統一されているかと思えます。

○会長 「教職員の働き方改革」ということでよろしいですね。

○事務局 「教職員」に統一します。

○会長 ほかにございますか。

○委員 １０ページの取組の体系の３－２として、「教員の働き方改革」という言葉があり、１９ページにも「教員の働き方改革」の記載があります。一方で、下から５行目には「府中市立学校における働き方改革推進プラン」とあり、「学校における働き方改革」という言葉が出ています。

おそらく文科省はこちらの言葉を主に使っていると思います。そうすると、この２つの言葉が一般的には同じように捉えてしまうのですが、ここでは違う意味で書かれているのか、それとも同じ言葉を二通りの言い方で表現されているのか、確認をさせてください。

○会長 事務局お願いします。

○事務局 １９ページの「府中市立学校における働き方改革推進プラン」は府中市が策定しているプランの名称で、「教職員の働き方改革」についてのプランでございまして、意味合いは同じですが、表現が２つある、という形で捉えております。

○会長 委員はそろえたほうが良いというご意見ですか。

○委員 できればそろえたほうが良いと思います。文科省の方々に聞いても、教職員、教員の働き方改革という言葉あまり使いたくないようです。

ご確認いただいて、統一できるのであれば「学校における働き方改革」のほうがよいのではないかと思います。

○会長 事務局いかがでしょうか。

○事務局 文科省のホームページを見ますと、「学校における働き方改革について」の説明の中で、教員のこれまでの働き方の見直しということが明確に書いてございます。言葉としてこれを避けているという印象は受けておりません。「学校における働き方改革」というのは全体的な話ではありますが、では「誰の」ということをある程度明確にしたほうが伝わりやすいと考えております。我々としては、「教職員の働き方改革」を進めていくことが必要と考えております。一方で、プランの名称につきましては、「府中市立学校における働き方改革推進プラン」としている状況です。今後、このプランを改定するにあたって、どちらにそろえるかについては検討してまいりたいと思いますが、学校教育プランにおいては、「教職員の働き方改革」にそろえたいと考えております。

○会長 よろしいでしょうか。

文科省はなぜ「教職員の」と言わないようにしているのでしょうか。参考までに教えてください。

○委員 1週間ほど前に文科審議官の話を聞いてきたのですが、「教職員の働き方改革」というのは、どちらかというとマスコミが使っている言葉であって、自分たちとしてはあまり望ましくないというようなことをおっしゃっていました。学校全体の業務において、教員が必ずやるべき仕事、あるいは必ずしも教員がやらなくていい仕事など、3分類されましたよね。それらに基づいた職の在り方や分担についても進めていくことということをおっしゃっていました。

○会長 ありがとうございました。ほかにはいかがでしょうか

○委員 16ページの表について、体力の合計点の平均値比較が記載されています。市民の方がこの合計点というだけで何を表しているのか分かるのか、不安になりました。例えば、全国学力・学習状況調査では、合計点で何点以上がAランクとか、何点以下がBとかCとかって全部で5段階に分かれますよね。そういったものを15ページの下の方欄に入れておくとか分かりやすいのではないかと思います、提案をさせていただきます。

○会長 16ページの表について、分かりにくいので、もう少し説明があったほうがいいのではないかとご指摘だと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局 確かにこの数字見ただけで、市民の方は何の数字か分かりづらいと思いますので、注釈を入れるようにしたいと思います。

○会長 ではお願いします。よろしいですか。

○委員 ありがとうございます。

続いて21ページの4行目に「基礎的・基本的な知識を着実に習得しながら」とありますが、「技能」が抜けていないでしょうか。「知識・技能」という言葉をほかの部分では使っていると思うのですが、ここは意図的に「技能」が外されているのかどうか、気になりました。

○会長 学習指導要領では「知識・技能」とされていますよね。ですから、ここに「知識」だけを記載しているのは何か意図があるのかというご質問ですが、い

かがでしょうか。

○事務局 おっしゃるとおり、これまでのページですと「知識・技能」と記載しておりますので、21ページにつきましても、「知識・技能を着実に習得しながら」に修正いたします。

○会長 それでは、委員、続けてください。

○委員 続いて24ページです。「教育資源を生かした教育活動充実」の3行目の「各種文化スポーツ施設」ですが、文化とスポーツの間に中黒が入るのではないのでしょうか。

その上の「ふるさと学習の推進」の3行目、「先人の苦労や偉業について学びます」とあり、確かにそうなのですが、平たい言葉で言うと「先人の生活や取組」あるいは「努力」という言葉のほうが分かりやすいのではないのでしょうか。「偉業」という言葉を使うのかどうか、気になりましたので、質問します。

○会長 今の2点についていかがでしょうか。

○事務局 1点目の「文化スポーツ」につきましては、中黒を入れて修正いたします。2点目の「苦労や偉業」につきましても、平たい表現に修正したいと思います。

○会長 よろしいですか。それでは続けてください。

○委員 28ページの「3-5 地域との連携強化」で、「学校運営協議会（文部科学省が推進するコミュニティ・スクール）又はスクール・コミュニティ協議会（府中版コミュニティ・スクール）」と説明があります。この2つの違いが市民の方々はお分かりになっているのでしょうか。その下の表から読み取れということなのか、何かそれぞれの違いや対比するような表があると分かりやすいのではないかと思います、提案をさせていただきます。

○会長 説明をお願いいたします。

○事務局 前回の協議会で、この表が分かりづらいというご指摘があり、「府中版コミュニティ・スクールのイメージ」ということで修正をさせていただいております。

「学校運営協議会」と「府中版コミュニティ・スクール」につきましては、名称の違いや法的な位置付けの違いはありますが、内容の差を説明できるほどの大きな差はありません。国が進める前に府中市版独自で取り組み始めたのが「府中版コミュニティ・スクール」であり、法的な位置付けの有無が一番大きな違いです。ここでその差を説明するのではなく、府中市学校教育プランは府中市のプランですから、府中市独自の取組のほうに焦点を当てて表現をさせていただくのがよいのではないかと考えております。

○会長 現状は、各学校が名称を選べるのでしょうか。名称だけではなく中身も違うのだと思いますが、府中版の「スクール・コミュニティ協議会」と法に基づく「学校運営協議会」、どちらにするか学校が選べるのでしょうか。

○事務局 法に基づく「学校運営協議会」につきましては、市のほうでどの学校

にお願いするかということを決めており、それが現状３校あります。残りの３０校と、学校運営協議会を置いている３校も含めた全３３校で「府中版コミュニティ・スクール」を実施しているという状況です。

○会長 現在はこの２種類が並行してあるということですね。よろしいですか。それでは続けてください。

○委員 ３９ページの目指す姿の２つ目、「学習環境や職員の執務環境」となっていますが、「教職員」ではないでしょうか。

○会長 いかがでしょうか。

○事務局 委員ご指摘のとおり、「教職員」に修正いたします。

○会長 それでは続けて、よろしくお願いします。

○委員 ４０ページの「学校施設の大規模改修（変更）」について、文章が次のページまで一文で書かれています。４０ページの下から２行目の「部分修繕等に取り組んでいます」で１回切っていただくと、文章としては読みやすいのではないかと感じました。

○会長 事務局、いかがでしょうか。

○事務局 ご指摘のとおり、７行にわたる長い文書でございますので、一度ここで句点を入れたいと思います。

○会長 ほかにございませんか。よろしいでしょうか。

本来でしたら、委員の皆さんにご確認をいただいてから答申とするところですが、答申期限も迫っておりますので、本日ご意見があったところの修正については、会長と副会長に一任していただくということでよろしいでしょうか。

（「異議なし」との声あり）

○会長 それでは、事務局が修正したものを私と副会長で確認をいたしまして「（案）」を取り、教育長に協議会からの答申として提出させていただきます。

最後に、次第の４「その他」ですが、事務局から何かございますか。

○事務局 特にございません。

○会長 皆様からはいかがでしょうか。特にございませんか。

それでは、本日が最終回となりますので、委員お一人ずつ、感想やご意見をいただきたいと思います。

（各委員から感想等）

○会長 それでは、以上をもちまして第３回府中市学校教育プラン検討協議会を閉会いたします。皆さん、長期間にわたりましてありがとうございます。

以上で、私と増渕副会長は、正副会長の任務を終了させていただきます。以降は、事務局に引継ぎます。よろしくお願いいたします。

○事務局 田中会長、増渕副会長、委員の皆様、3回にわたる会議において、活発なご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。

学校教育プラン検討協議会を終了するに当たりまして、教育総務課長からご挨拶を申し上げます。

○教育総務課長 委員の皆様には、本年7月から本日まで大変タイトな日程にもかかわらず、毎月の会議へのご出席や、資料の事前確認等にご協力とご尽力をいただきましてありがとうございました。頂戴しましたご意見、ご指摘等につきましては、今後の本市教育行政の運営にあたり、参考とさせていただきたいと存じます。

本日まとめていただきました答申につきましては、後日会長から教育長へ正式にご提出をいただいた後に、本市教育委員会において答申の内容を尊重し、中間見直しの案を作成してまいります。

その後に、市民からご意見を伺うパブリック・コメント手続、また教育委員会の会議での決定を経て、今年度中に中間見直しとして策定してまいります。

策定した暁には、引き続き教育委員会、学校、地域また家庭や関係機関等と連携して教育施策を推進してまいりたいと存じます。誠にありがとうございました。

○事務局 最後に、事務局から1点ご連絡いたします。本日の会議録につきましては、およそ1か月後をめどに事務局から送付させていただきますので、ご確認いただき、修正等があれば事務局のほうへ申し出ていただければと思います。

以上をもちまして、府中市学校教育プラン検討協議会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。